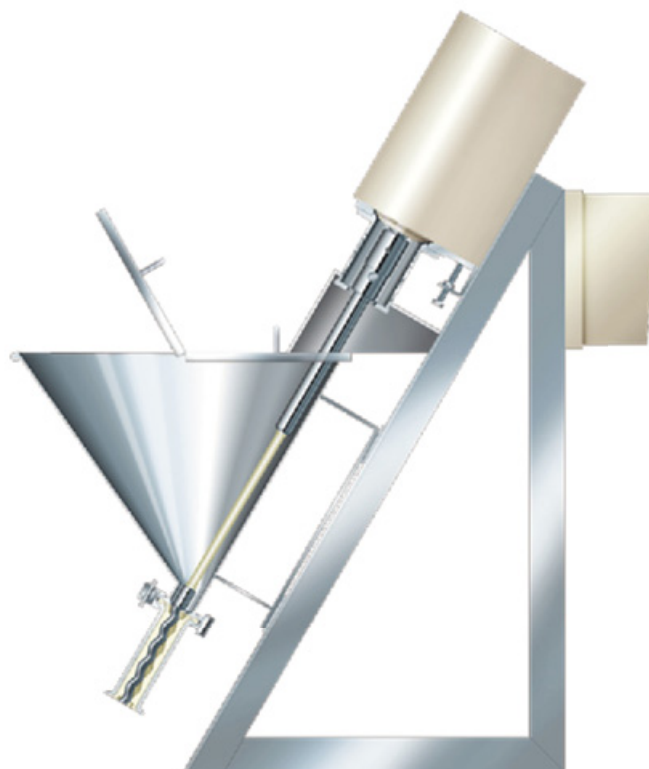


2NVL型サニタリータイプ

2NVL型

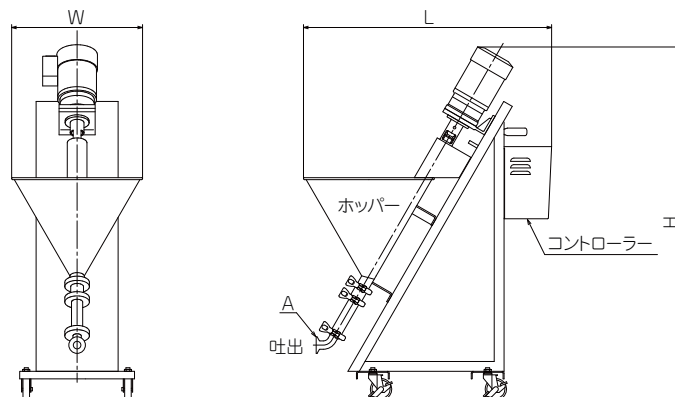
ポンプケーシングがホッパーを兼ねています。

軸封がないので、分解・洗浄が容易です。



※ホッパーの蓋はオプションです。

●外形寸法図



●インバーター仕様 (吐出圧力: 0~0.3MPaの場合)

型式	口径 (ヘルレル)	吐出量 (mL/min)		所要動力 (W)	ホッパー容量 (L)	概略寸法 (mm)			質量 (kg)	
		min	max			L	W	H		
2NVL04	15A (10A)※	5.2	64.1	90	2	490	250	810	16	
		13.7	186	100	5	560	310	900	24	
2NVL06		21.3	298	90	2	490	250	810	16	
		56.8	688	100	5	560	310	900	24	
2NVL08		1S				10	640	400	970	25
			43.6	647	90	5	560	310	860	20
					10	640	400	930	21	
2NVL10	117		1934	200	30	810	550	1140	43	
	85.9		944	90	5	560	310	860	21	
					10	640	400	930	23	
			400	30	810	550	1160	45		

- 最大吐出圧力は0.9MPaまで可能です。
- ジャケット仕様ホッパー、キャスター付きも可能です。
- 本表は代表的なモーター組合せを示しています。その他の所要動力と減速比の組合せは弊社までお問い合わせください。
- インバーター機種選定については、弊社までお問い合わせください。
- ※テフロンステーターの場合は10Aとなります。

機種・型式名の表示

●CY、CBの例

ローター段数	機種名	ローター径	ジョイント方法	ケーシング材質
	CY	04	F F：フレキシブルロッド なし：PAジョイント	R

●NY、NB、NTLの例

ローター段数	機種名	ローター径	ジョイント方法	ケーシング材質
3	NY	06	F F：フレキシブルロッド なし：PWジョイント	

●NL、NBL、NVLの例

ローター段数	機種名	ローター径	ジョイント方法	ケーシング材質
2	NL	10	F F：フレキシブルロッド PU：PUジョイント PW：PWジョイント	R ：PPまたは各種樹脂 なし：ステンレスまたはチタン

ローター、ステーター、ケーシングの材質

ローターやステーターなど、接液部の材質は移送する液質によって最適のものが選べます。

ローターには金属、特殊耐酸性のチタン、ハステロイなどがあります。

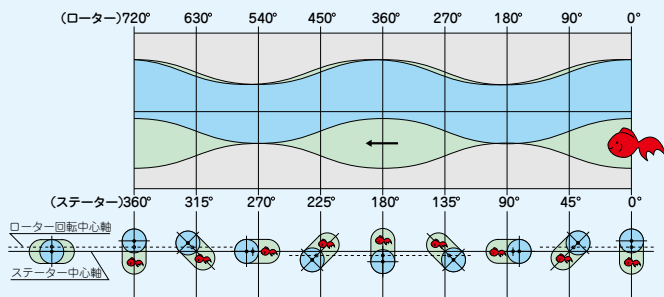
またステーターは、各種合成ゴム、合成樹脂、ステンレスなどの材質がそろっています。

ゴム及び樹脂のステーター材質につきましては、下記の表をご確認ください。

パーツ名	材質
ケーシング	●ステンレス(SUS304, SUS316, SCS14) ●チタン ●PP他各種樹脂
ローター	●ステンレス(SUS316) ●チタン ●ハステロイ ※各種表面処理を施したのもございます。
ステーター	●合成ゴム ●樹脂 ●ステンレス(SUS316)

最適なハイシムモノポンプ®を選定するための要素

含有固形物による選定



●液中に含まれる固形物の大きさによってローター径が変わります。

移送液の中に固形物が含まれる場合、通過させ得るだけのローター径のポンプを下の表より選定する必要があります。

CY・CB	04	08	10	12	15
通過させ得る固形物の最大粒径 (mm)	0.6	1.0	1.2	1.5	2.0
NY・NB (L)・NL	02	04	06	08	10
通過させ得る固形物の最大粒径 (mm)	0.3	0.6	1.5	2.0	2.5

移送液の条件による回転速度

●最高回転速度は移送液の性状によって制約されます。

吐出量が同じなら、小径のポンプを回転速度を上げて使った方が経済的です。しかし、回転速度の許容範囲は、移送液の粘度・摩耗性などの条件によって差があります。

① 液体の摩耗性と回転速度	
液体の性状	ポンプ許容回転速度
摩耗性のない液体	600～1,800 min ⁻¹
摩耗性の少ない液体	300～600 min ⁻¹
摩耗性の大きい液体	20～300 min ⁻¹

② 液体の粘度と回転速度	
液体の粘度	ポンプ許容回転速度
1～1,000 mPa·s	600～1,800 min ⁻¹
1,000～10,000 mPa·s	300～600 min ⁻¹
10,000～100,000 mPa·s	100～300 min ⁻¹
100,000～1,000,000 mPa·s	20～100 min ⁻¹

吐出圧力による選定

●圧力はローターの段数に比例

吐出圧力は、ローターの段数に比例します。また同じ段数のものでも、移送液の摩耗性の少ないものほど吐出圧力を高く選定できます。また、低速回転、小容量でも変わらない吐出圧力を保持します。右の表にしたがって、段数を選んでください。

一般型 (CY, CB) の吐出圧力 (MPa)				
段数	段数=ローター、ステーターの長さ =吐出圧力に比例	液体の摩耗性		
		無い	少ない	大きい
1		0.3	0.2	0.1
一般型 (NY, NB) の吐出圧力 (MPa)				
段数	段数=ローター、ステーターの長さ =吐出圧力に比例	液体の摩耗性		
		無い	少ない	大きい
3		1.35	0.9	0.45
6		2.7	1.8	0.9
12		5.4	3.6	1.8

санитарリー型 (NL, NBL) の吐出圧力 (MPa)				
段数	段数=ローター、ステーターの長さ =吐出圧力に比例	液体の摩耗性		
		無い	少ない	大きい
2		0.9	0.6	0.3
4		1.8	1.2	0.6

※高圧用途は特殊設計仕様となります。

必要とする吐出量による選定

●最小1.2 mL/minから最大7000 mL/minまで

単位時間あたりに必要な吐出量は、ローター径と回転速度によって算出されます。10種類の呼径によって、最小1.2 mL/minから、最大7000 mL/minまで選べます。

CY・CB	04	08	10	12	15
1回転当たりの呼び吐出量 (mL)	0.21	0.54	1.21	2.17	4.02
NY・NB (L)・NL	02	04	06	08	10
1回転当たりの呼び吐出量 (mL)	0.06	0.23	0.9	2.0	3.9